

MIRAI モデリスタ バージョン

サイドスカート 取付要領書

品番:D2611-64710 MSD44-62001/MSD44-62002

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。

■最新の適合情報はモデリスタホームページをご覧ください。

<https://www.modellista.co.jp>

取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意してください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なってください。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- サイドスカートを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。
(PACプライマーN-200を本品に添付)

(重要) プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。

(重要) ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。

■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。

■両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。

(重要) ■両面テープの圧着を十分に行ってください。49N (5kgf) 以上

取り付け完了後の点検・注意事項

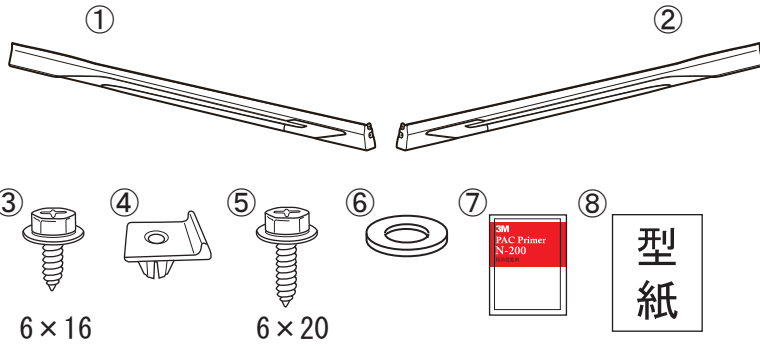
- サイドスカートが、車両に確実に貼り付けされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、車両とサイドスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



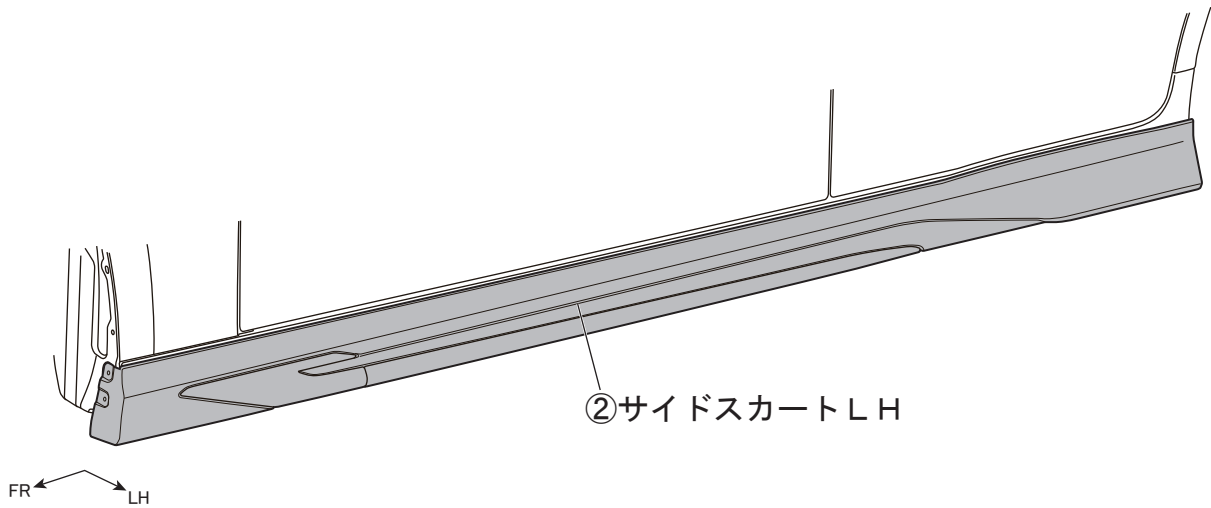
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

No.	品名	個数
①	サイドスカートRH	1
②	サイドスカートLH	1
③	タッピングビスA	8
④	グロメット	8
⑤	タッピングビスB	6
⑥	ラバーワッシャー	6
⑦	PACプライマーN-200	1
⑧	型紙	1



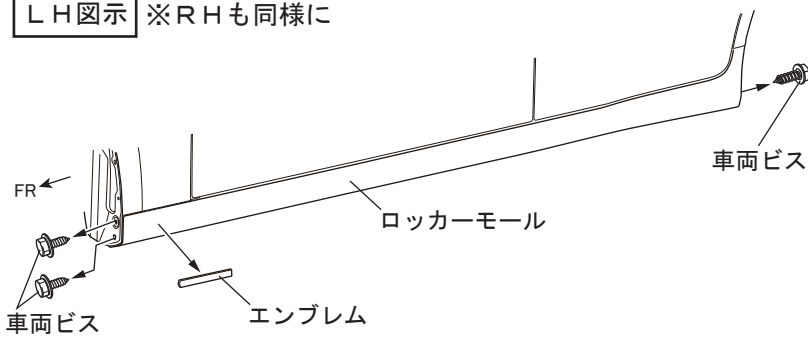
取付概要



取付手順

I. 取付準備

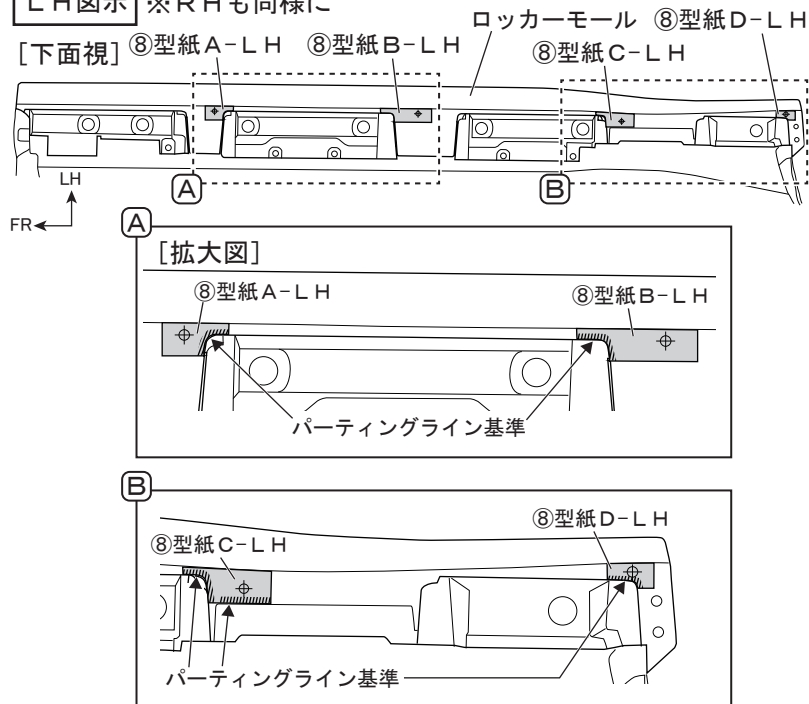
LH図示 ※RHも同様に



1. フロントおよびリヤホイールハウス部左図位置の車両ビスを取り外す。
(フロント側 左右各2ヶ所)
(リヤ側 左右各1ヶ所)
※取り外した車両ビスは再使用しません。

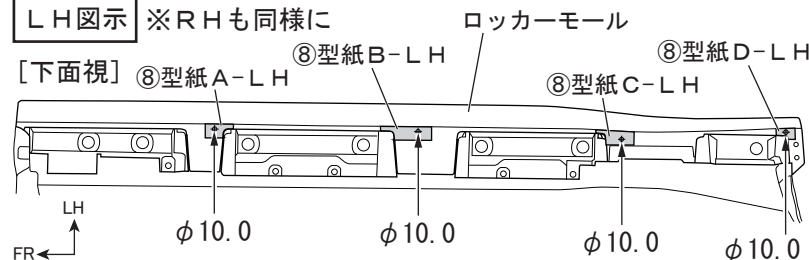
2. 車両ロッカーモール前方側面のエンブレムを取り外す。(左右各1ヶ所)
※エンブレム装着車のみ。
※取り外したエンブレムは再使用しません。

LH図示 ※RHも同様に



3. 車両ロッカーモール下面の左図位置に⑧型紙A、B、C、Dを貼り付ける。
(左右各4ヶ所)

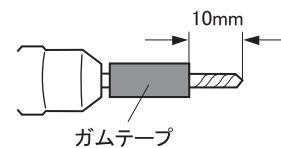
LH図示 ※RHも同様に



4. ロッカーモール下面の⑧型紙A、B、C、Dの穴あけ位置に合わせてドリルで穴をあける。
(ドリル φ3.0→φ7.0→φ10.0 左右各4ヶ所)

アドバイス

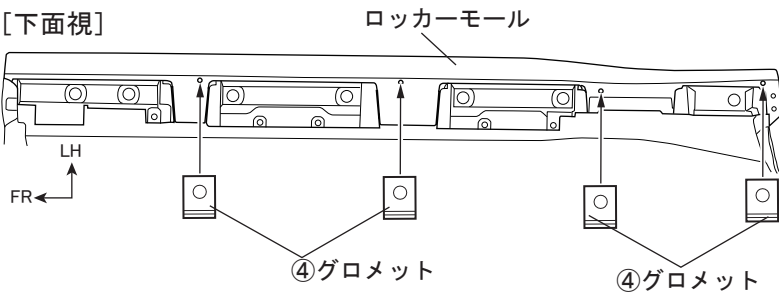
- 穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



5. ⑧型紙を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(左右各4ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に

[下面視]

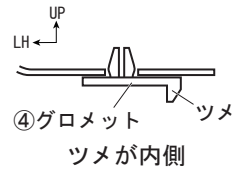
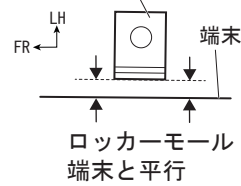


6. ロッカーモール下面左図位置のφ10.0穴に
④グロメットを取り付ける。(左右各4ヶ所)

アドバイス

- ④グロメットを取り付ける際は、向きに注意してください。

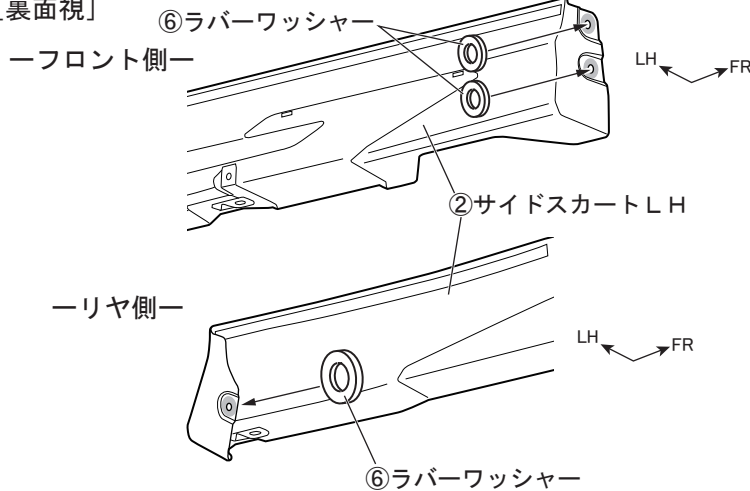
④グロメット



7. ①②サイドスカート前後折り返し部の左図穴位置に⑥ラバーワッシャーを貼り付ける。
(左右各3ヶ所)
※貼り付け部を脱脂してください。

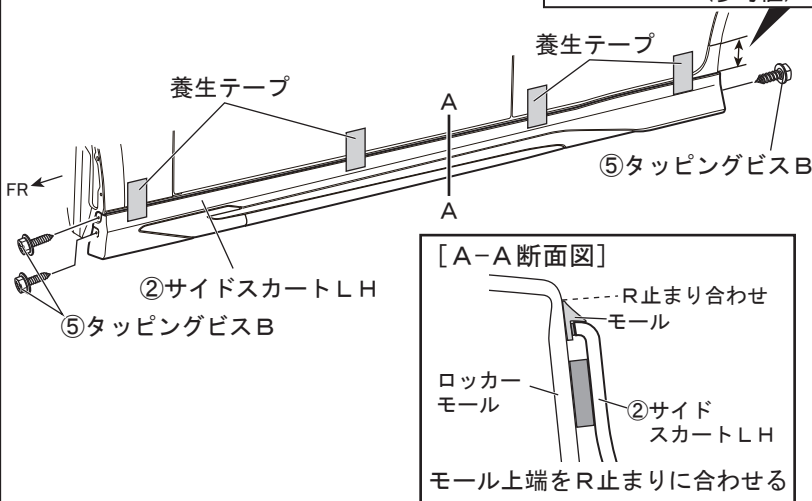
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



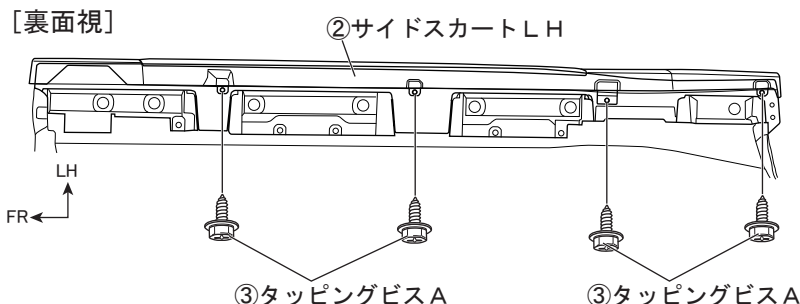
LH図示 ※RHも同様に

ロッカーモール端末から88mm (参考値)

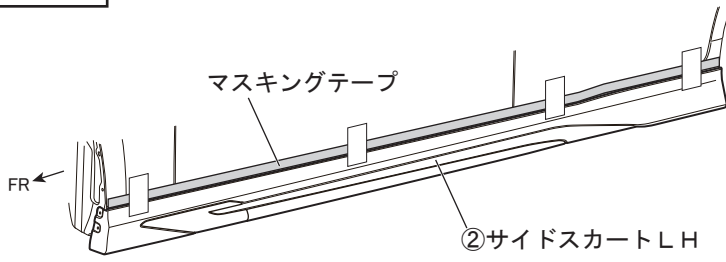


8. ②サイドスカートLHを車両に仮当てし、前後ホイールハウス部を⑤タッピングビスB (左右各3ヶ所)、下面を③タッピングビスA (左右各4ヶ所)で仮締めし、取り付け位置を確認して養生テープ等で仮固定する。

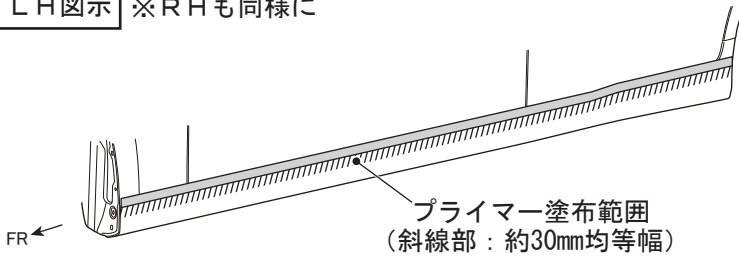
[裏面視]



LH図示 ※RHも同様に

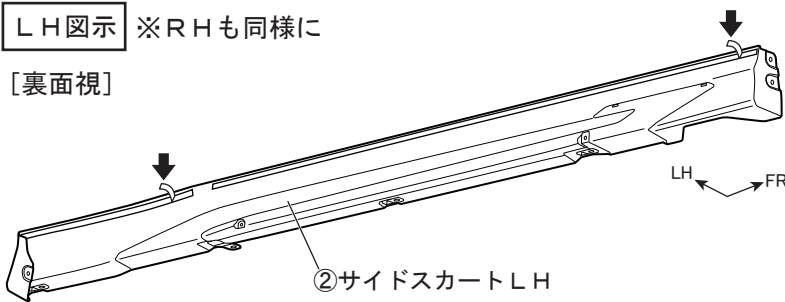


LH図示 ※RHも同様に



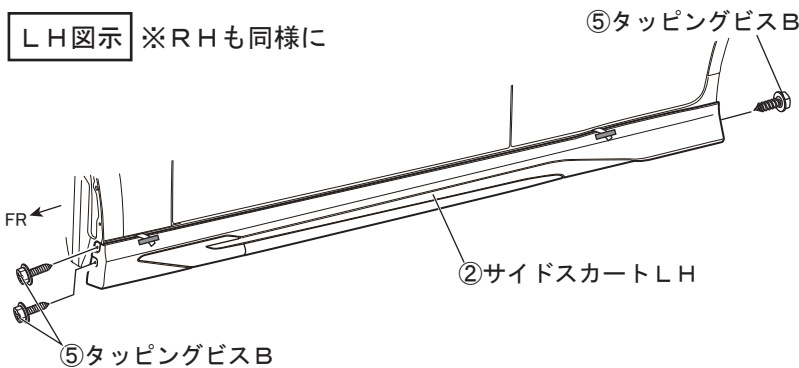
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

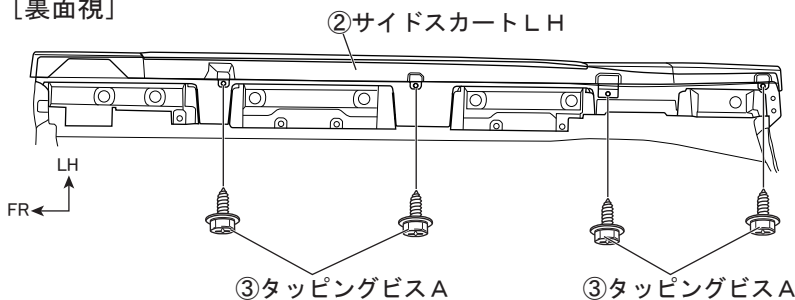


II. 取付け

LH図示 ※RHも同様に



[裏面視]



9. 左図を参照し、②サイドスカートLHのモール上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

10. ②サイドスカートLH取り外す。

11. 車両ロッカーモールの左図斜線部を脱脂し、⑦PACプライマーN-200を塗布する。

アドバイス

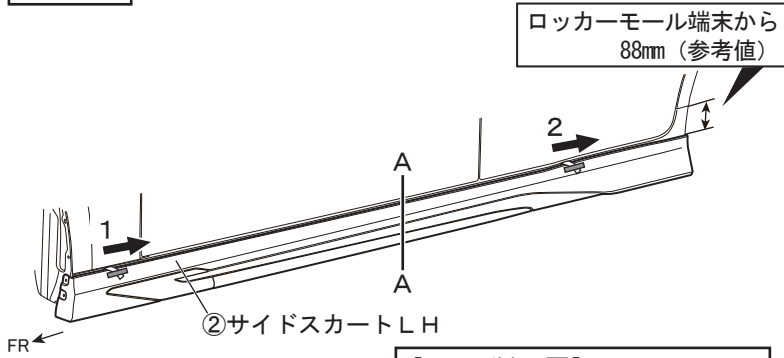
- PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

12. マスキングテープを剥がす。

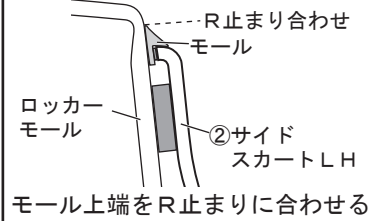
13. ②サイドスカートLHの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(左右各2ヶ所 左図矢印部)

1. ②サイドスカートLHを車両に仮当てし、前後ホイールハウス部を⑤タッピングビスB(左右各3ヶ所)、下面を③タッピングビスA(左右各4ヶ所)で仮締めする。

LH図示 ※RHも同様に



[A-A断面図]



2. ②サイドスカートLHの両面テープの離型紙を1~2の順に引き抜きながら圧着する。

👉 アドバイス

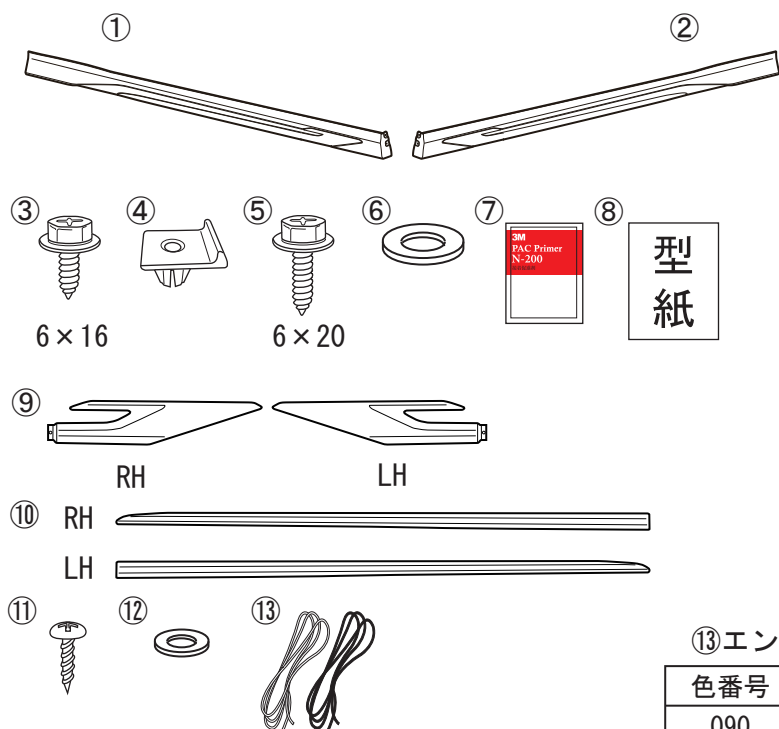
- ・離型紙が途中で切れない様に①②サイドスカートを少し浮かせながら離型紙を引抜いてください。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

3. ①②サイドスカートの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

4. 仮締めしていた③タッピングビスA (左右各4ヶ所)、⑤タッピングビスB (左右各3ヶ所)をすべて本締めして取り付け作業終了。

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカートRH	1
②	サイドスカートLH	1
③	タッピングビスA	8
④	グロメット	8
⑤	タッピングビスB	6
⑥	ラバーワッシャー	6
⑦	PACプライマーN-200	1
⑧	型紙	1
⑨	FRメッキパーツ (RH/LH)	各1
⑩	RRメッキパーツ (RH/LH)	各1
⑪	タッピングビスC	4
⑫	ワッシャー	4
⑬	エンドモール	グレー:2 ブラック:2

型紙

⑬エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
090	プレシャスホワイトパール	グレー
202	ブラック	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
1J6	プレシャスシルバー	グレー
1L5	プレシャスメタル	ブラック
8S6	ダークブルーマイカ	ブラック
3U5	エモーショナルレッドⅡ	ブラック
8Y7	フォースブルーマルチプルレイヤーズ	ブラック

サイドスカートの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①②サイドスカートをボディ色で塗装する。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面をマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。(本製品の素材は>PPE<です)
4. 上塗り塗装を行う。
5. 硬化

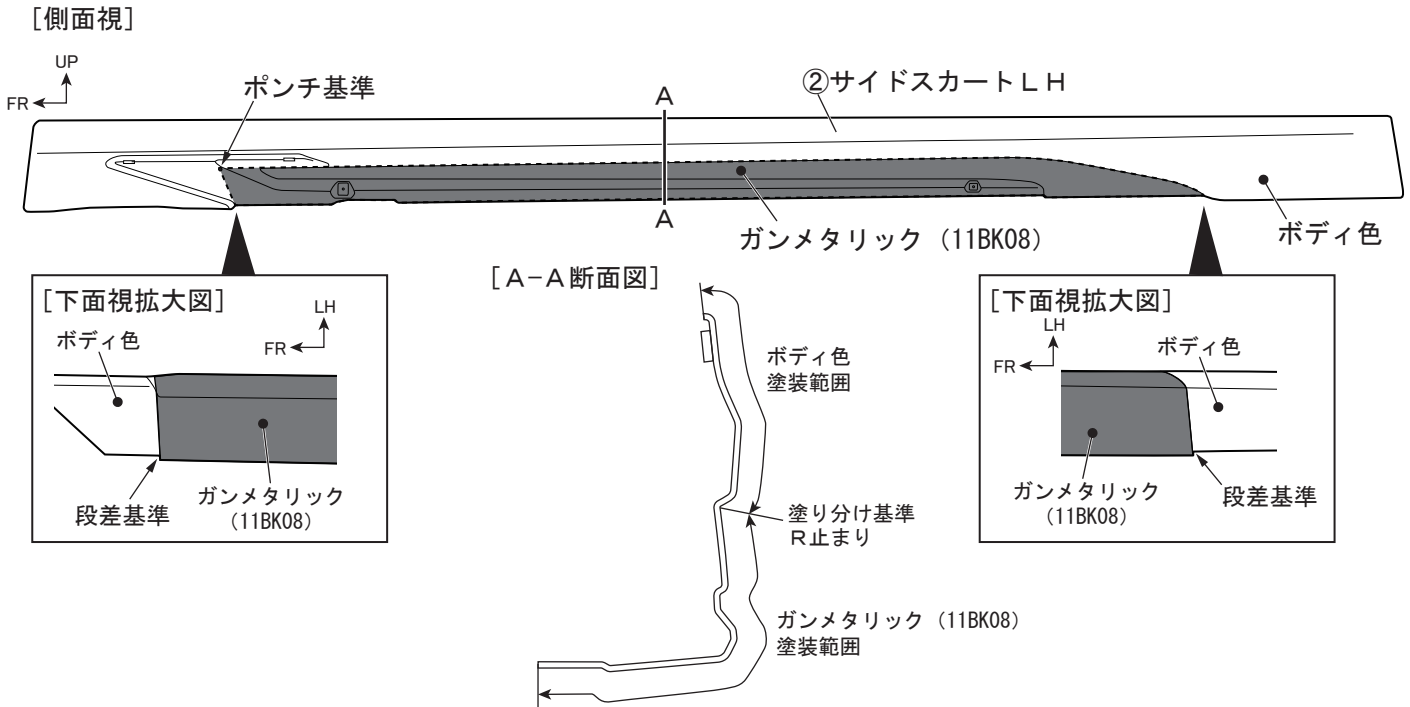
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず70℃以下で乾燥させてください。
変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

ツートン塗装

1. 下図範囲をガンメタリック（11BK08）で塗り分け塗装する。

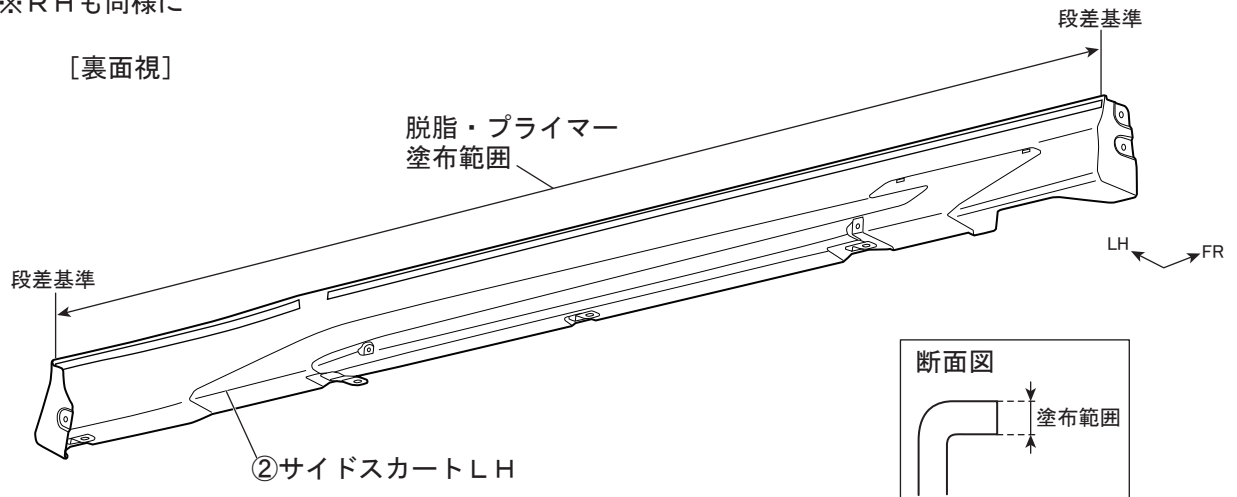
LH図示 ※RHも同様に



プライマーの塗布

1. ②サイドスカート LHの⑬エンドモール貼付け部分を脱脂し、⑦PACプライマーN-200を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



アドバイス

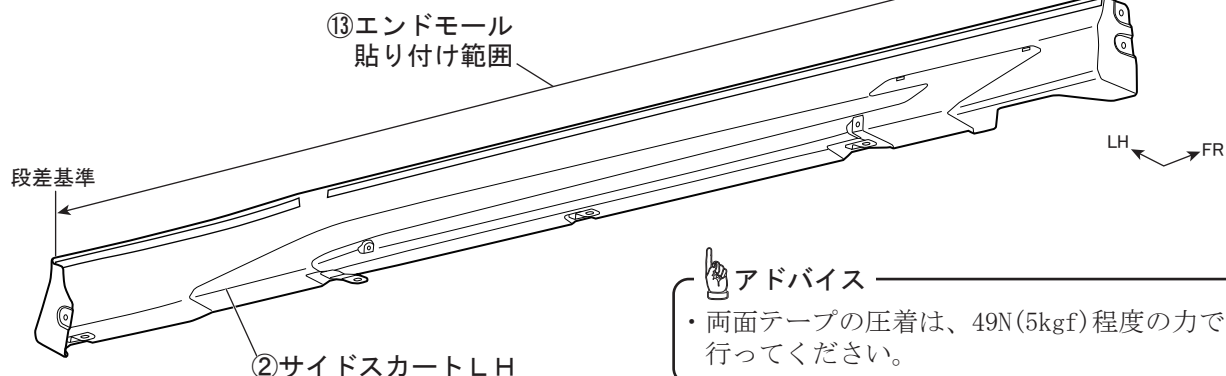
- ・ PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・ PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PACプライマーN-200はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領で⑬エンドモールを貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に

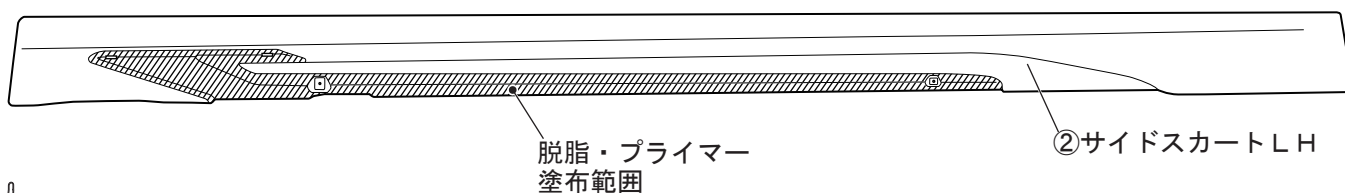
[裏面視]



メッキパーツの取り付け作業

1. ①②サイドスカートの⑨FRメッキパーツ (RH/LH)、⑩RRメッキパーツ (RH/LH) 貼り付け部(下図斜線部)を脱脂し、⑦PACプライマー-N-200を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



アドバイス

- PACプライマー-N-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PACプライマー-N-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- PACプライマー-N-200はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

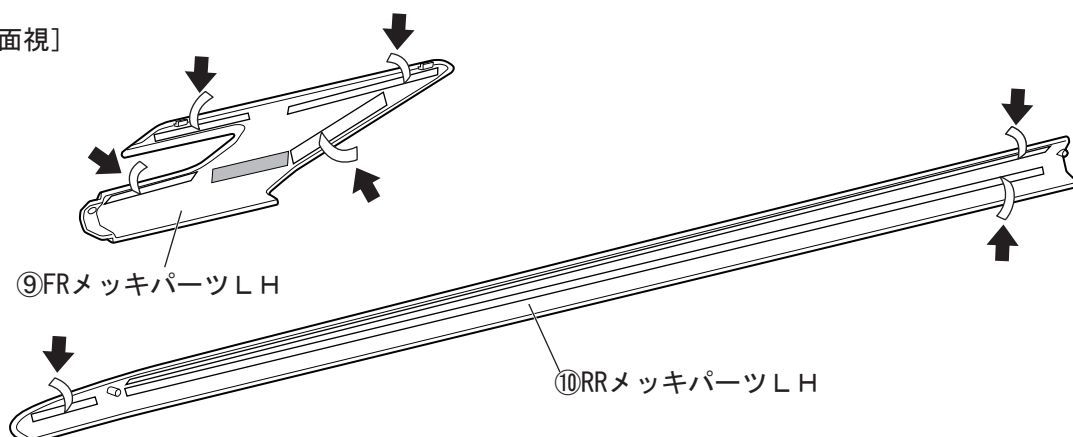
2. ⑨FRメッキパーツ (RH/LH)、⑩RRメッキパーツ (RH/LH) の離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。

(⑨FRメッキパーツ 左右各4ヶ所 下図矢印部)

(⑩RRメッキパーツ 左右各3ヶ所 下図矢印部)

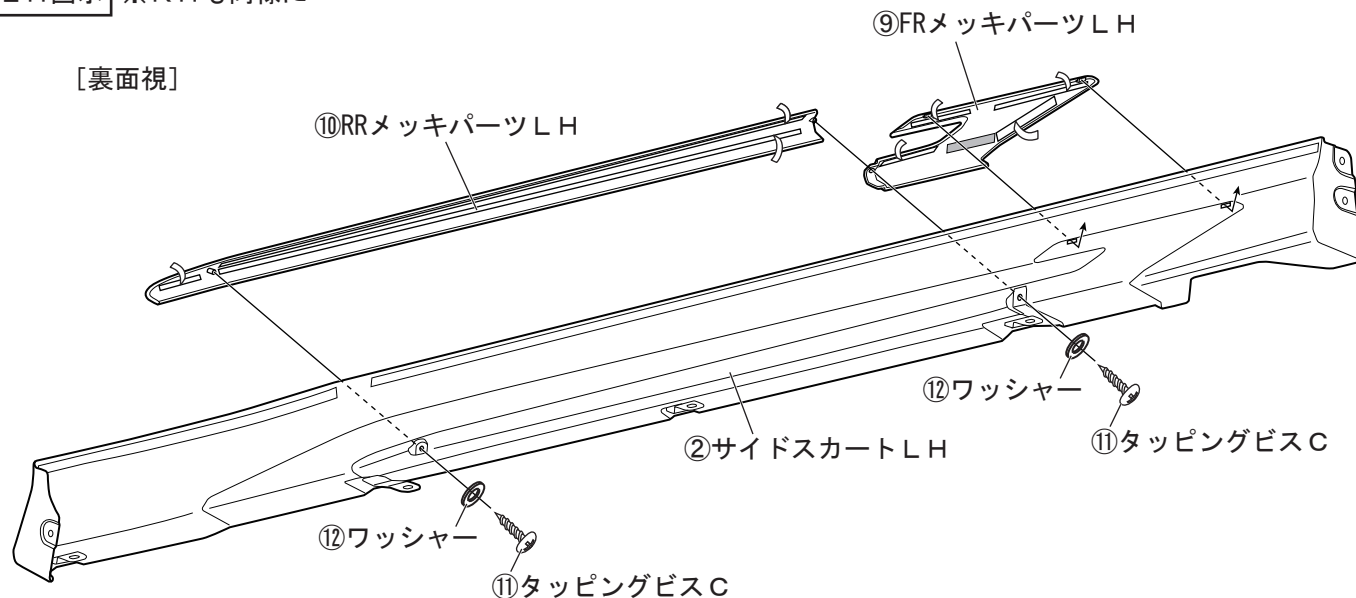
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



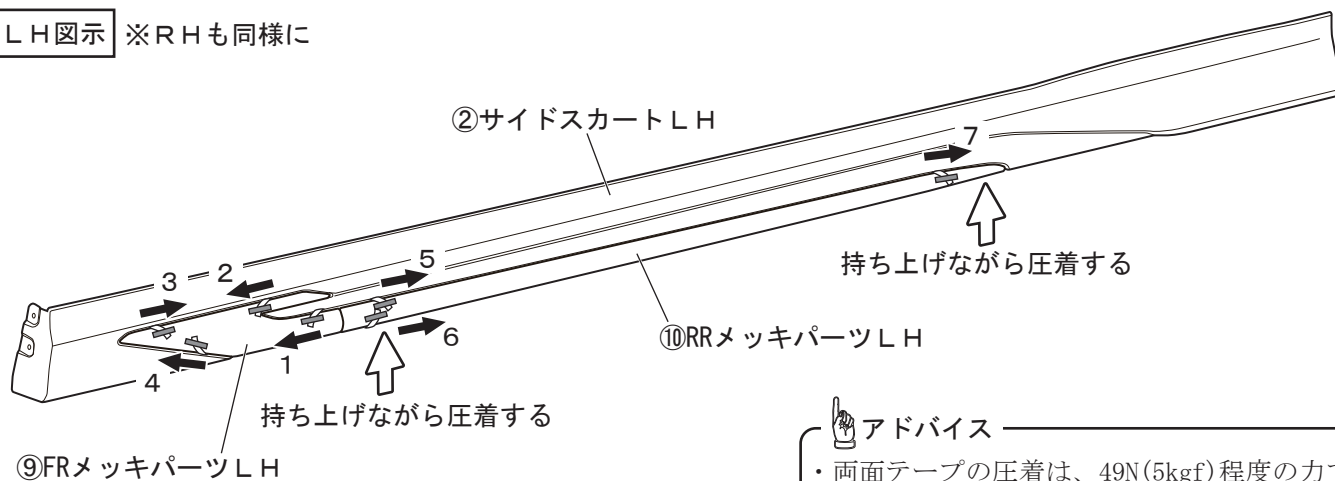
3. ②サイドスカートLHに⑨FRメッキパーツ、⑩RRメッキパーツの順に仮当てし、裏側から⑪タッピングビスC、⑫ワッシャーで仮締めする。(左右各2ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に



4. 前方上方に突き当てながら周囲の隙が均等になっていることを確認し、両面テープの離型紙を1~7の順に引き抜きながら圧着する。

LH図示 ※RHも同様に



アドバイス

・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

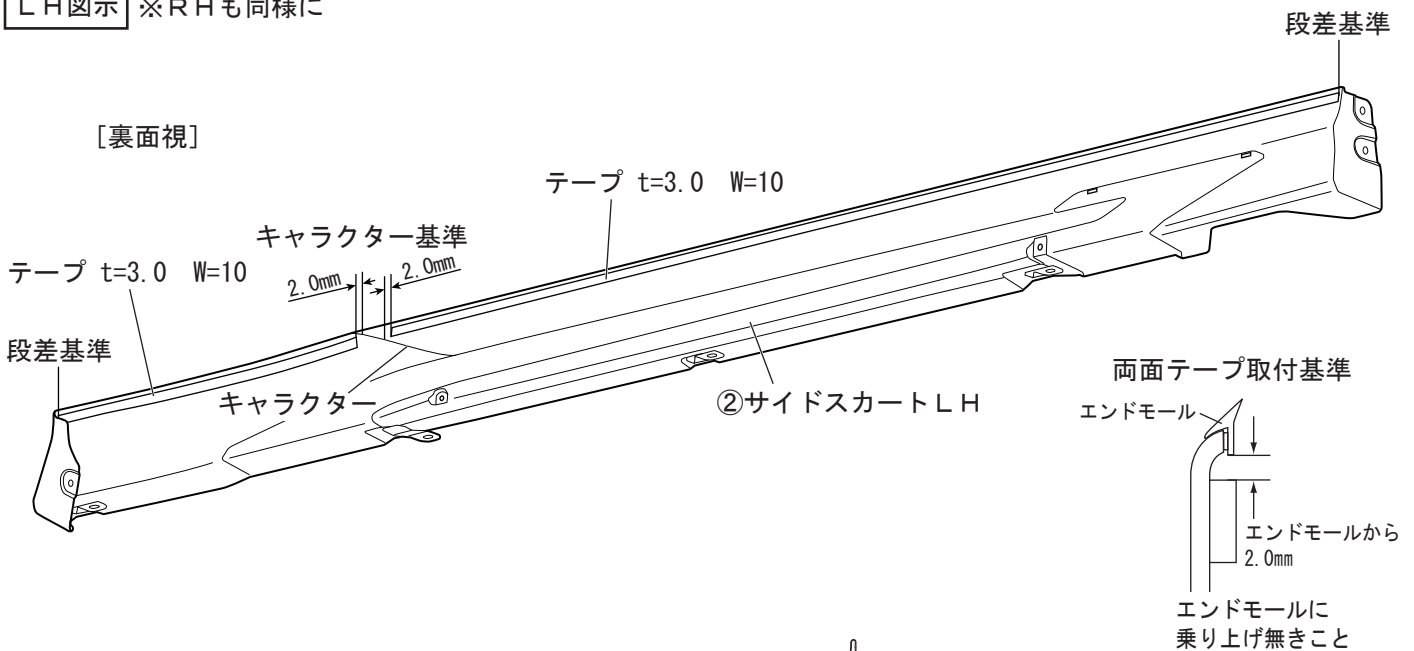
5. 仮締めした⑪タッピングビスCを本締めする。(左右各2ヶ所)

補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①②サイドスカートLHの再取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマーK-500相当）を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



アドバイス

- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

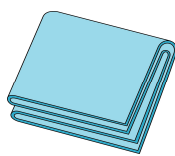


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



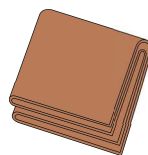
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

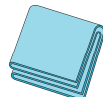
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



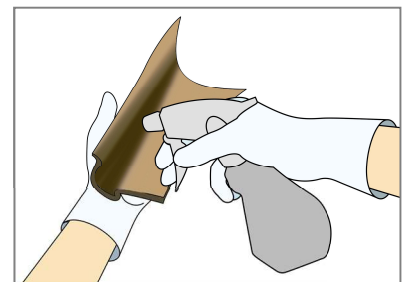
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

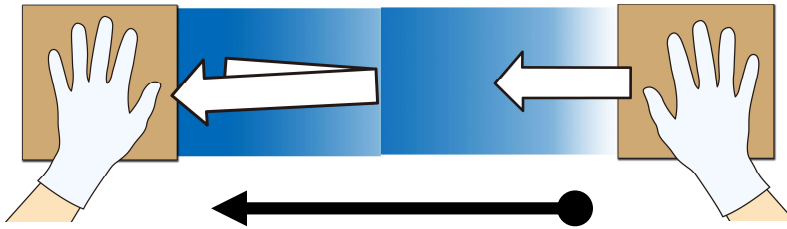
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

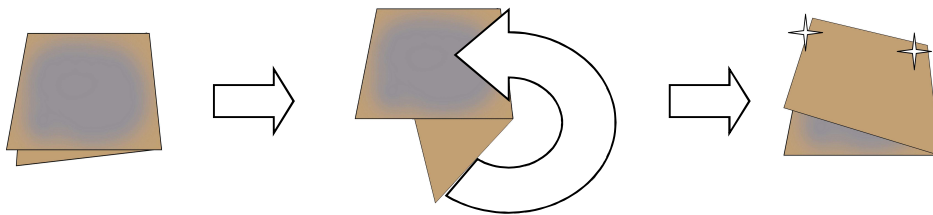
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。